

ICT 活用授業実践

令和4年9月29日 授業者：石塚 祐子

【教科名】 単元名 高跳び

本時のねらい グループで互いの動きを見合い考えた、高跳びをするための解決策を基に、繰り返し練習する活動を通して、「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムを保ちながら、振り上げ足を高く上げて跳ぶことができる。

話合いの姿

- ・振り上げ足が膝ぐらいいまだしか上がっていないから、ゴムに足がひっかかってしまったよ。足を腰くらいまであげるとゴムにひっかからずに跳べると思うよ。(足を上げた位置に線を書き込む。)
- ・振り上げ足を勢いよく、つま先を腰の高さまで上げるようにすると、足が上がりやすいよ。

ICT 活用の目的

自己の取り組んだ動きをスロー再生で視聴し、自己の取り組んだ動きと見つけたポイントとを照らし合わせることで、課題が明確になり、解決策について、友達と話し合うことができる。

- ・自己の課題を視覚的に捉えられるように、タブレットで撮影し、スロー再生機能を使って、自己の取り組んだ動きを視聴して、見つけたポイントと照らし合わせるよう促す。
- ・グループの仲間の課題を解決できるように、見つけたポイントと取り組んだ動きとを照らし合わせて、撮影した動画に丸印や線を書き込むよう促す。
- ・できるようになった動きと、自己のコツや勘、友達からのアドバイスを結び付けられるように、できるようになった理由を問いかける。

子どもの課題意識

これまで、高跳びの助走、踏み切り、振り上げ足のポイントをそれぞれ見付けられたよ。今日は、全てのポイントを意識して、記録会に向けて取り組みたいな。自分やグループの仲間が、「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムを保ちながら、振り上げ足を高く上げて跳ぶことができるようにするためには、どうしたらよいだらう。